

苫小牧市長 岩倉 博文様

2021年2月17日

苫小牧社会保障推進協議会
会長 宮崎 有広

医療・介護従事者に対する新型コロナウイルス感染症についての行政検査の拡大を求める要請書

【要請趣旨】

市民の生活と地域経済を守るため、日夜ご奮闘されていることに敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言が、1都2府7県で継続されています。現在北海道において宣言の発令はありませんが、第3波が収束したとは言えません。昨年末から、苫小牧市内でのいくつかのクラスターが発生しており、その中にはいくつかの高齢者施設が含まれています。感染拡大を防ぐためには、高リスクの高齢者を支える医療・介護従事者の防御と状況把握は不可欠です。是非早急な対応を御検討いただきたく、以下、要請いたします。

【要請事項】

- 一、 医療施設、介護施設で働く職員の無症状の希望者を対象にして、公費負担で定期的に、COVID-19のPCR検査を行うこと。
- 二、 上記の内容を北海道全体でも行うように、道に要請すること。

【要請の理由】

前回要請させていただきましたが、発症数日前から他への感染性が高まること、また多くの無症候者がおり、そこから新たな感染が起きることは、この間の多くの研究から明らかとなっています。

これを踏まえていくつかの地方自治体で、医療機関・高齢者施設の職員を対象とした、定期的なPCR検査を、自治体独自に行う取り組みが開始されています。発症すると重篤になる可能

性が高い高齢者に接する機会の多いこれらの施設の職員に対し、より積極的に、発症前あるいは無症候の感染者を把握しようというものです。北海道内では、根室市、厚真町で開始され、3月から札幌市でも開始される予定となっています。このような取り組みが、地域住民が安心して医療機関に受診したり、介護サービスを受けたりできる状況を作るためには必要不可欠です。苫小牧市でも同様の取り組みが必要だと考えます。従来の陽性者が出てからの検査というやり方では十分でなく、一歩踏み出した対応をとっていくべきと考えます。

また、一部の高齢者施設の職員については、COVID-19に対するワクチン接種がいつになるのか明確ではないことも、申し添えます。